

競 技 注 意 事 項

- 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。第162条の5については適応しない。不正出発をした選手は、そのレースは失格となる。
- トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は、着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までを確認する)
また、次の種目は着順どりとする。800mの1年女子と2・3年女子は12名、共通男子は8名。1年、2年男子1500mは15名とする。
共通女子1500mと共通男子3000mはタイム予選とする。共通女子1500mは15名、共通男子3000mは18名がタイムにより決勝に進出する資格を得るものとする。また、3年男子1500mはタイム決勝とする。
- A、B決勝を行う種目について、A決勝レースのみを8位入賞の対象とする。
- 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)
- ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。
男子110mH 高さ 91.4cm インターバル 9.14m
女子100mH 高さ 76.2cm インターバル 8.00m
男子砲丸投(5.0kg) 男子四種競技砲丸投(4.0kg)
女子砲丸投(2.721kg) 女子四種競技砲丸投(2.721kg)
- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。女子走幅跳の予選通過記録は、5m45とする。
なお、決勝は12名で行う。
共通男子走高跳 1m50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m50と1m60)
共通男子四種競技 1m30-35-40-45-50-55…以後3cmずつ(練習は1m30と1m40)
共通女子走高跳 1m30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m30と40)
共通女子四種競技 1m20-25-30-35…以後3cmずつ(練習は1m20と30)
共通男子棒高跳 2m40-60-80-3m00-20-40…以上10cmずつ
- 走幅跳は次の距離より計測する。
男子 5m30, 女子 4m20
- 砲丸投は次の距離より計測する。
男子 8m00, 女子 8m00
- 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
- フィールド種目の試技は、開始の合図から1分以内に試技を済ませなければならない。
(制限時間を表示するタイマーを使用します。)
- 女子の走幅跳は、参加者が24名を超えるので予選、決勝を行う。予選通過記録は、次のように設定する。
【女子走幅跳：5m45】
- 競技者は、学校名ナンバーカードを胸背部に正しく付けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)ナンバーカードのない競技者は出場できない。
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。
共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別ナンバーカードを使用する。競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。
- 競技のレーン順、試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際、本部で行う。
- 招集について
① 招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。
② 招集時刻は、プログラムに記載されている通りとする。また、記載されているのはすべて招集完了時刻である。
③ 選手は招集完了時刻10分前までに招集所に集合すること。10分前より点呼を開始する。
リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともにルール第170条(11)により、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合には、参加申込書のコピーにその選手を赤で○をしてオーダー用紙とともに競技者係に提出する。オーダー用紙は招集場に用意する。
④ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙(同時二種目出場届)に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集場に用意する。
⑤ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。
⑥ 四種競技出場者も同様に行う。なおフィールド種目は競技開始30分前、トラック競技は競技開始20分前には完了すること。
⑦ 競技を棄権する場合、予選・決勝を問わず棄権届け(陸協指定の用紙)を競技者係に提出すること。用紙は競技運営本部に用意する。
- 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。
- トラック競技のゴール後は、最寄りのゲートより退場すること。また、スタンドから降りての応援・観戦はしないこと。
- 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、リレーのマークなどもチームで責任もって剥がすこと。(ハードルは会場に設置してあるものを共用して使うこと)
- 記録の発表は、正面玄関前の掲示板にて掲示・発表する。
- 表彰は、各種目の8位まで(リレーは3位まで)の入賞者に表彰状を授与するので、競技終了後すみやかに正面ロビーに集合すること。
- 本大会は、第46回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。また、男女のリレーについては、本大会の優勝校が全国大会の出場権を得ることができる。
- 本大会は、第74回国民体育大会広島県予選会を兼ねる。

第65回全日本中学校通信陸上競技広島県大会 連絡事項

1 学校受付及び役員受付

- (1) 学校受付は、8:00～8:20とし、監督は必ず学校受付をしてプログラムを受け取ること。また、学校受付終了後に競技役員の手配をすませること。
学校受付及び役員受付は、正面スタンド入りロビーで行います。
- (2) 役員の手配合わせ会を8:25より競技運営室において行うので、役員は時間厳守で集合すること。
- (3) 開会式を9:00より行います。競技場内の競技者・役員は必ず参加すること。なお、トラック競技・フィールド競技とも競技順序No. 4までの競技に出場する競技者は、参加しなくても良い。

2 競技役員について

- (1) 競技役員については、別紙競技役員一覧表により運営しますが、欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率の先生に競技役員をお願いすることもありますので、服装等については必ず留意しておいてください。
- (2) 競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお、競技役員の服装は、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのスボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺のスカートでお願いします。ジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、その任務中は、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたること。

3 競技場使用について

- (1) 練習場は、補助競技場を使用すること。(砲丸投げピットは使用不可、芝生上にも投げないこと)
補助競技場では、スターティングブロックおよびフレキハードルを主催者で準備する。これらの練習用具については、学校からの持ち込みをしないこと。

<補助競技場のレーン区分～時間帯によって、次のようにレーンの使用区分を変えます。>

※プログラムの流れを見て、アップ場の係役員がその都度、指示します。

- ・ホームストレート側7～8レーン → 男子ハードル練習レーン
(8レーン: 9.14m 間隔で高さ 91.4cm)
(7レーン: 8.5m 間隔で高さ 83.8cm)
- ・ホームストレート側5～6レーン → 女子ハードル練習レーン
(6レーン: 8.0m 間隔で高さ 76.2cm)
(5レーン: 7.5m 間隔で高さ 76.2cm)
- ・ホームストレート側3～6レーン(または時間帯によっては4～8レーン) → 短距離スタプロ練習レーン
- ・1～2レーン → 中長距離などの周回レーン
- ・3～5レーン → 高速周回レーン(200mや400mなどの曲走路を利用した高速の流しなど)
- ・時間帯によって2～5レーン → パトン練習優先レーンとする場合もあり
- ・補助競技場内が混雑しているときは、ゆっくりとしたジョグなどは、トラック周辺の芝生エリアで行ってください。

※砂場での走幅跳などの助走・跳躍練習は可能です。

※補助競技場内での投てき練習はできません。

- (2) 短距離種目については、ゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をお願いします。(選手同士の接触事故防止のため)
- (3) 競技終了後は、最寄りのゲートから退場すること。尚、正面スタンド前は通らないこと。
- (4) スタンドから降りての応援、観戦はしないこと。また、バックスタンドは最前列のみ応援のために使用して良い。
- (5) 本競技場は、全天候型なので、競技に使用するスパイクは全天候型のものとし、9mm以下を使用すること。(ただし走高跳は、12mm以下とする)

4 商標について

- (1) 競技場内には以下の規定を満たしていない商標名の付いた衣類・バッグは持ち込みできない。特にバッグについては注意すること。(他のカバン、袋を準備するのが望ましい。)どうしても持ち込まなければならない場合や競技場内で発覚した場合は「商標隠テープ」を貼り処置をする。その処置によって持ち物が破損した場合、主催者は責任を負わない。
 - ①上半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。
 - ②下半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のもの1ヶ所とする。
 - ③バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

5 その他

- (1) カメラ・ビデオでの撮影について、撮影許可証の受付はありません。しかし、盗撮防止についての取り組みは撮影禁止エリアの設置や表示、スタンドの見回り、アナウンス等行う予定です。生徒、保護者に説明・協力を伝えておいて下さい。
- (2) プログラムを実費譲渡致しますので、ご希望の方は受付に申し出てください。
(1部 500円)
- (3) 全国大会への出場が決まった学校は参加申込書等を本部にて選手に渡します。
全中の詳しい情報につきましては全中陸上競技大阪大会公式HPで確認して下さい。

全国大会申し込みは7月19日(金)までに提出してください。(公印が必要です。)